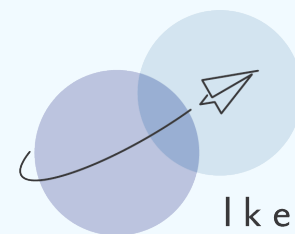


発達障害的特性の高い学生への就職支援

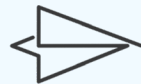
～アセスメントから心理的支援の展開まで～

令和7年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
プログラム6「障害のある学生のキャリア教育・就職支援 講演」

兵庫教育大学 池田浩之



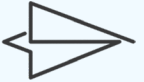
本講演における利益相反(COI)の開示について



本講演の後半では、登壇者が兼業で勤務しているNP0法人での実践例が含まれています。

登壇者とそのNP0法人はCOI関係団体(共同研究先、報酬を受ける先)に該当します。この状態については、登壇者の所属大学に報告し、適切に管理されています。また本講演においては主催者と事前に内容に関する要望等の打ち合わせを行い、確認を得た上で構成しています。

まず始める前に



- 自己紹介

池田 浩之

公認心理師・臨床心理士・就労支援員

- ・発達障害者専門指導監（兵庫県）

- ・認知行動療法スーパーバイザー

所属：兵庫教育大学大学院

NP0法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク(以下、JSN)

所属学会：日本認知・行動療法学会

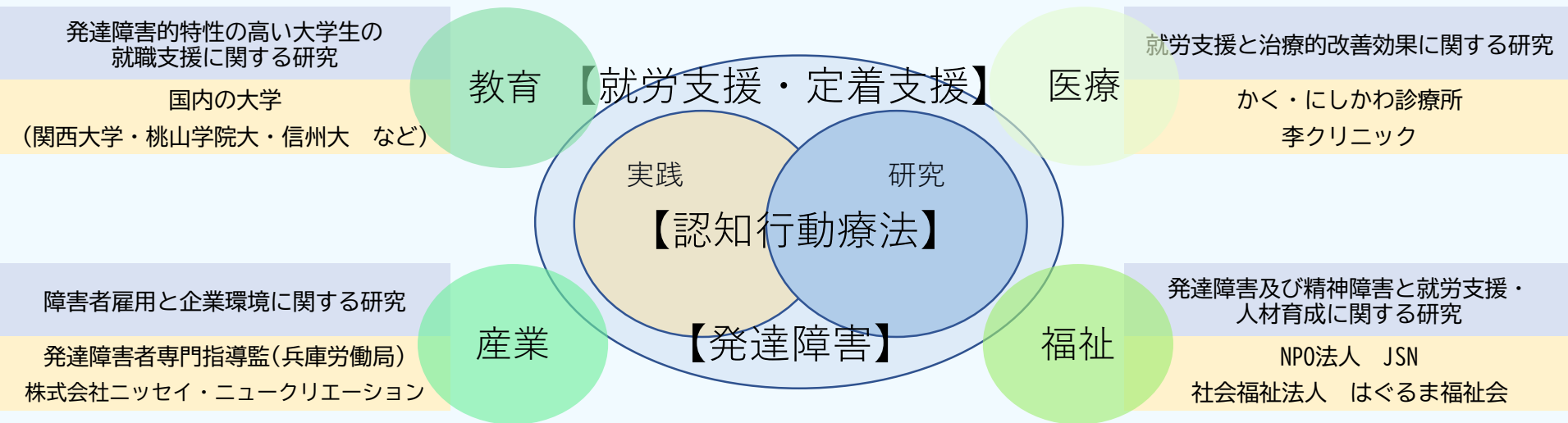
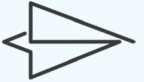
日本児童青年精神医学学会

日本職業リハビリテーション学会

日本LD学会

日本産業ストレス学会

池田の専門性について



本日の内容



【目的】

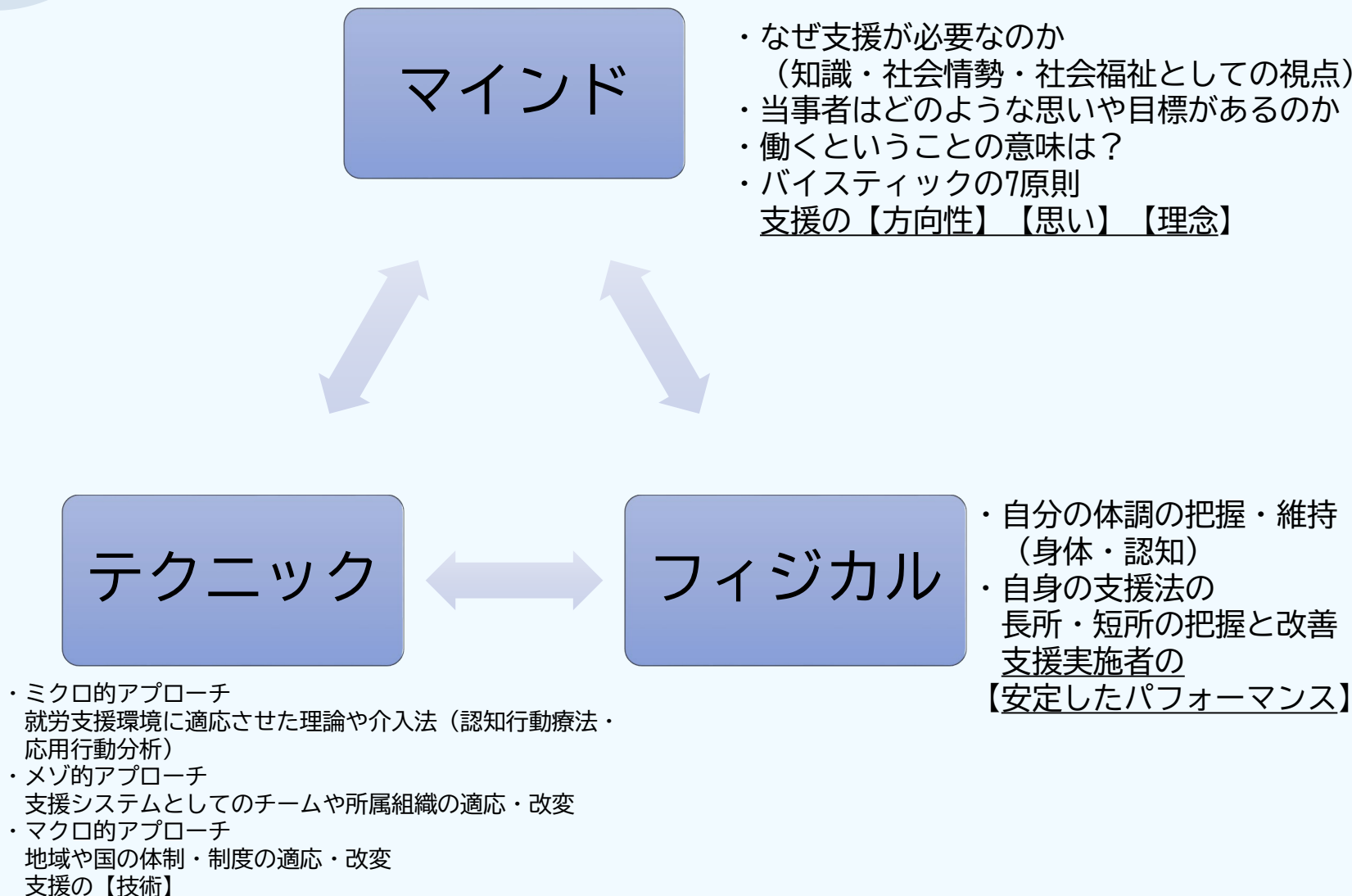
発達障害的特性の高い学生への就職支援について、個人と環境の現状とアプローチについて知る

【内容】

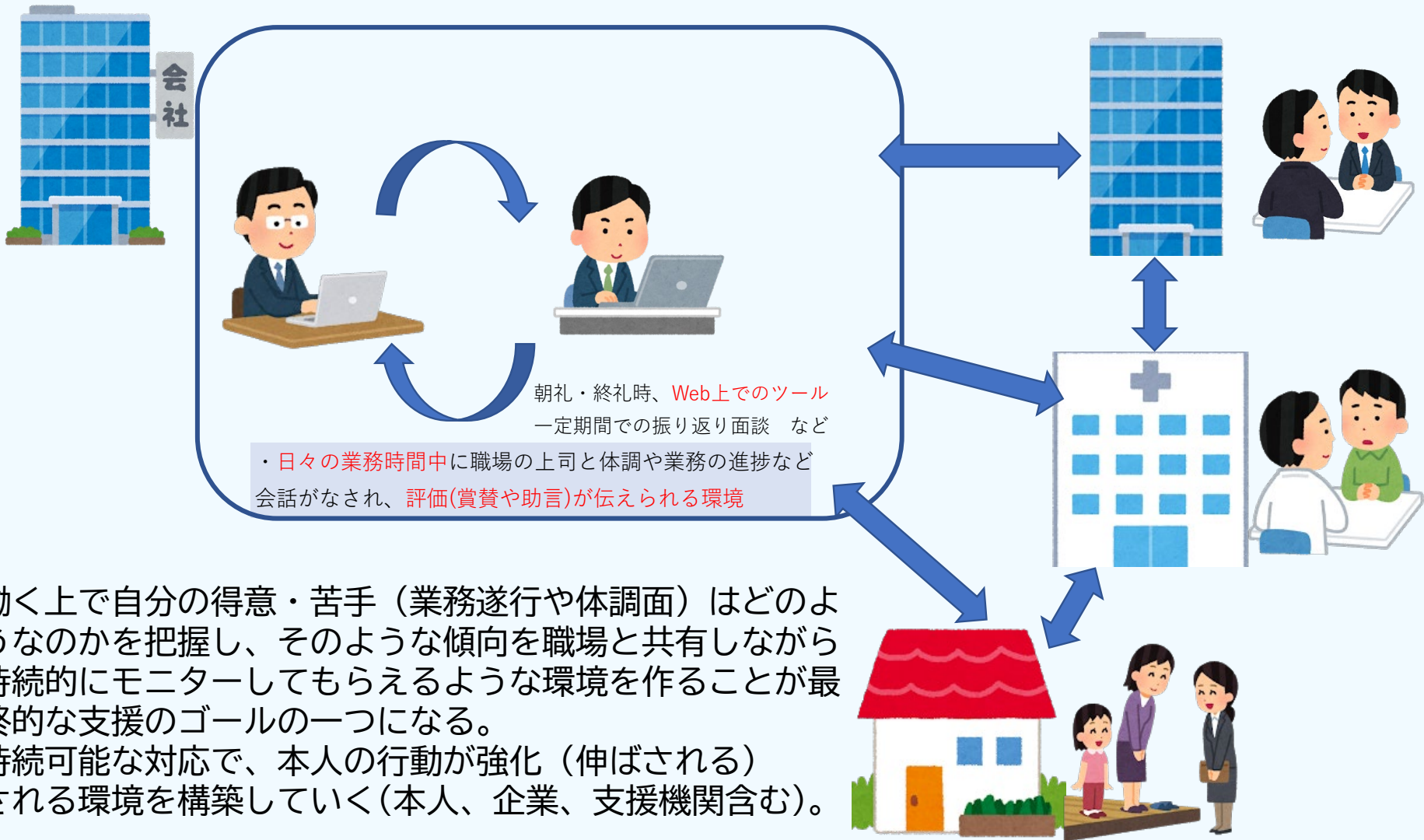
自己紹介

発達障害的特性の高い学生への就職支援に関する困難さの概要
就職支援について
就職支援の実践例

就労支援において専門性のあるパフォーマンスを より発揮するには(精神・発達障害のある方を対象)

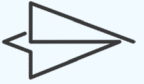


職場での定着を高めるために



働く上で自分の得意・苦手（業務遂行や体調面）はどのようなかを把握し、そのような傾向を職場と共有しながら持続的にモニターしてもらえよう環境を作ることが最終的な支援のゴールの一つになる。
持続可能な対応で、本人の行動が強化（伸ばされる）される環境を構築していく（本人、企業、支援機関含む）。

大学生に行う就職支援

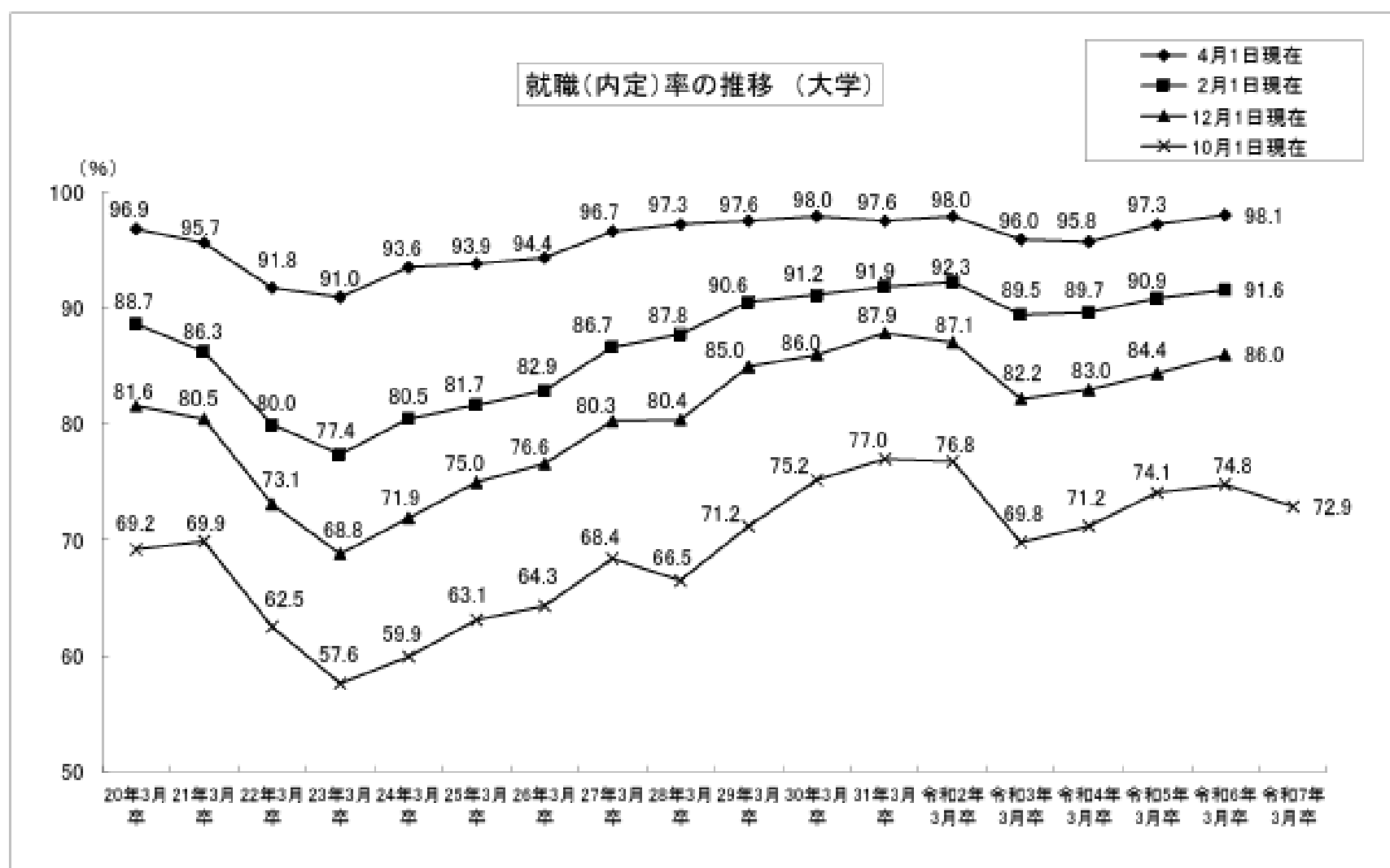


- 生活リズムの安定(食事・睡眠リズムの安定)
病状の軽減が図れ、日中活動のパフォーマンスが向上し、活動のつまずきが減ります。
 - ➡体調等のセルフモニタリング力の向上
- 学生活動の構造化を図る
見通しがもてる活動ではパフォーマンスが安定する学生はとて多いです。
修学上・就職上、何を着地にするか目的の具体的内容の設定は教員・学生ともに大切です。
 - ➡配慮学生への配慮を想定したTSの設定。
予告するなどといった、見通しへの配慮。
- 起こった出来事の共有ができる仕組み
提供した構造が学生に機能しているか定期的な確認を直接行います。その中で各学生の個人内でできていることを強化します(伸ばします)。またつまずいている部分を共有し、つまずきに対する困り感を特定していきます。
 - ➡随伴性マネジメントと必要に応じて学内・学外機関への連携



社会的現状について

昨今の若者の就職状況は？



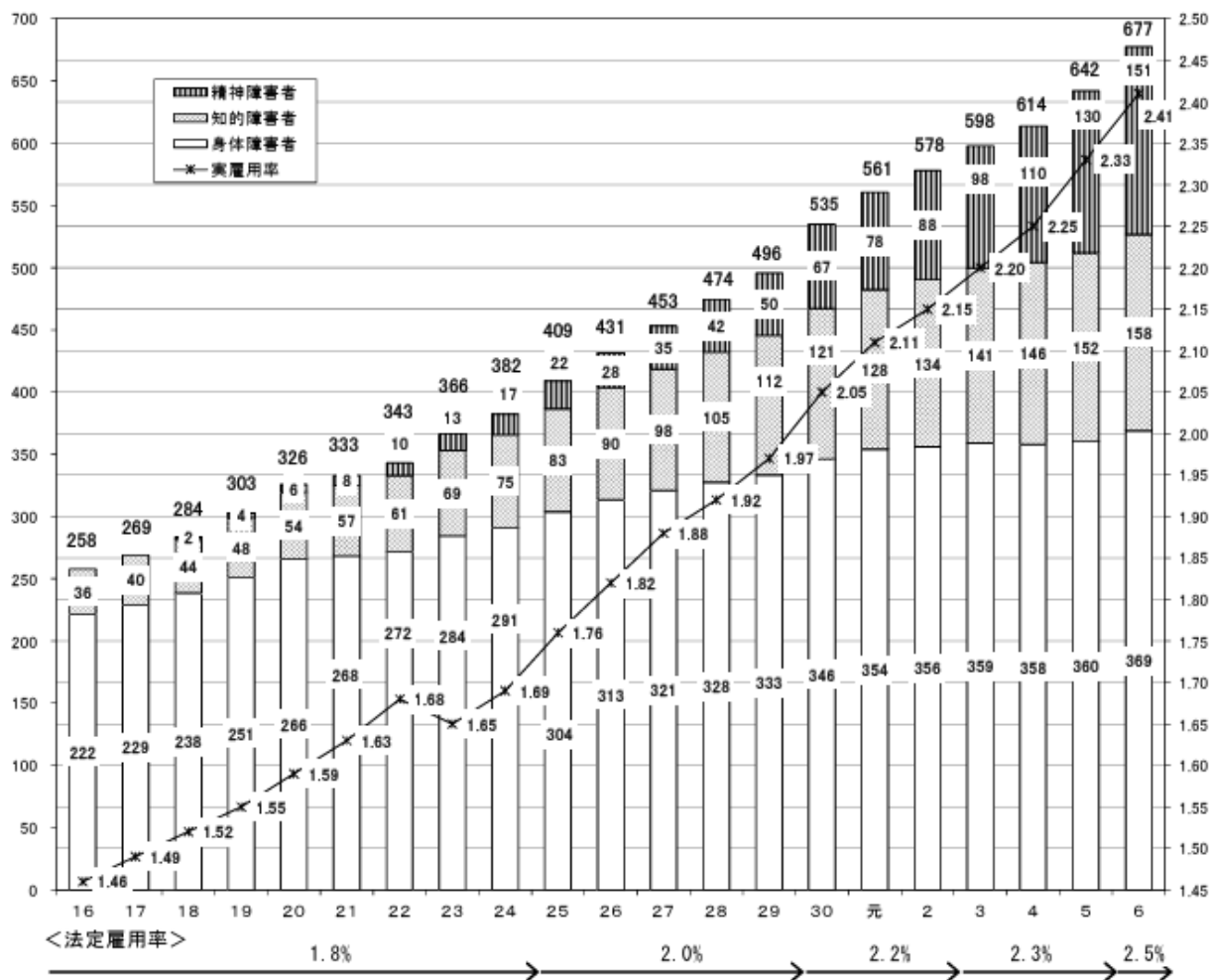
「厚生労働省・文部科学省 2025 令和7年3月大学等卒業予定者の就職内定状況合同調査より」

昨今の障害者雇用の推移



<障害者の数（千人）>

<実雇用率（％）>



注1：雇用義務のある企業（平成24年までは56人以上規模、平成25年から平成29年までは50人以上規模、平成30年から令和2年までは45.5人以上規模、令和3年から令和5年までは43.5人以上規模、令和6年以降は40人以上規模）についての集計である。

「厚生労働省 2024 令和6年障害者雇用状況の集計結果」より

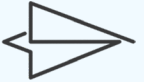
発達障害の特性が高い方の就労・就職でのつまずき

	社会性	コミュニケーション	想像力
学童期	・友達付き合いが上手いかない。 ・学級のルールが理解できない。 ・グループ活動に入れない。	・自分の言いたいことが上手く表現できず、行動などで示してしまう(伝えたいことが伝えられず大声をあげてしまう、など)。 ・先生の指示を上手く聞けない(比喩などを字義通りにとってしまう、など)。	・授業に集中できず、関心のある事ばかり行ってしまう。 ・一人で遊んでばかりいる。 ・学校行事に上手く参加できない(予定に合わせられない、など)。
成人期	・職場の同僚との付き合いが上手いかない(公私の区別がつきにくい)。 ・チームでの業務が上手くできない(他の同僚とのペースが合わせられない、など)。	・相談することが上手くできない(何に困っているか伝えられない、など)。 ・作業指示を上手く理解できない(復唱できない、など)。	・業務をバランスよく上手く行えない(得意な仕事ばかりしてしまう、など)。 ・自分の仕事の段取りが上手く組めない。

図1 発達障害のある成人の就労を中心としたつまずき（学童期との比較から）
「池田 2016 高機能自閉症スペクトラム障害者の心理的特性を踏まえた就労支援プログラムに関する研究」

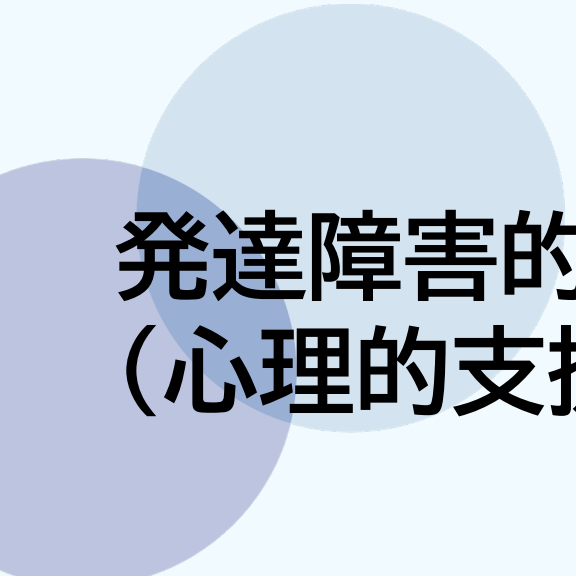
➡未診断で特性のある方々が職場でどのように躓くかを示したもの。
診断がついていても同様のつまずきを起こす方も少なくない。
社会性については、視覚情報処理(知覚推理)や空間判断力、コミュニケーションでは、同様に視覚情報・聴覚情報処理や処理速度、注意の切り替え、想像力については注意の切り替え、空間判断力などが起因して、働く環境との相互作用で躓いていると考える。

就職に向けた困りごと（日本学生支援機構）



- ①自分がどのような職業に就きたいかわからない
（職業への適性について）
- ②就職に対する意欲はあっても、面接などに
何回も落ちてしまいやる気をなくしてしまう
（採用面接時のつまずき）
- ③就職活動の手順がわからない
（就職活動の計画の立て方のつまずき）
- ④履歴書が書けない
（自分のことに関する整理のつまずき）

教職員のための障害学生修学支援ガイドブックより



発達障害的特性の高い就職支援の概要 (心理的支援とソーシャルワーク)

高等教育機関における障害学生への就職支援やキャリア教育支援の現況

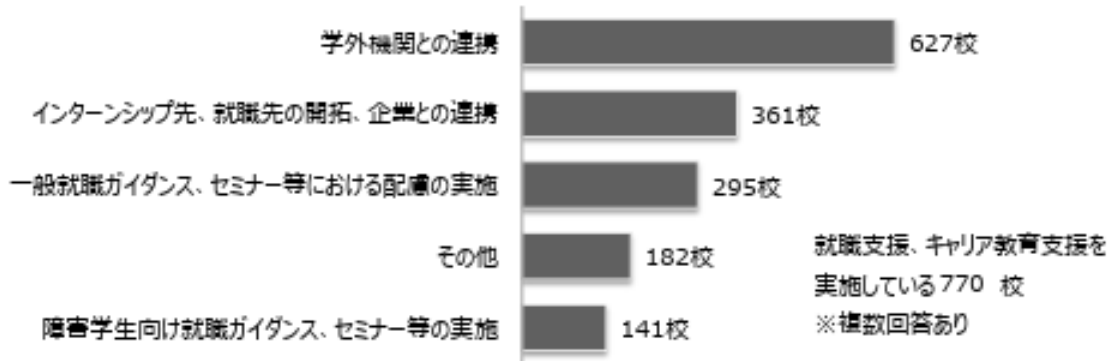
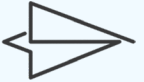
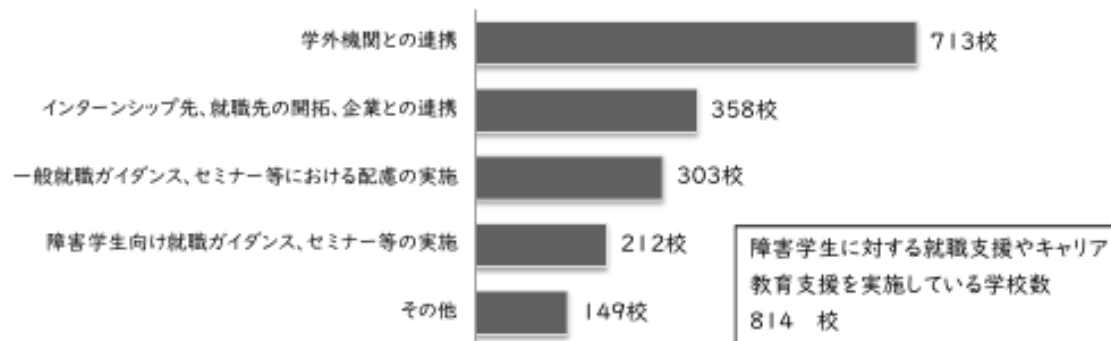


図25 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援



(注) 複数回答あり

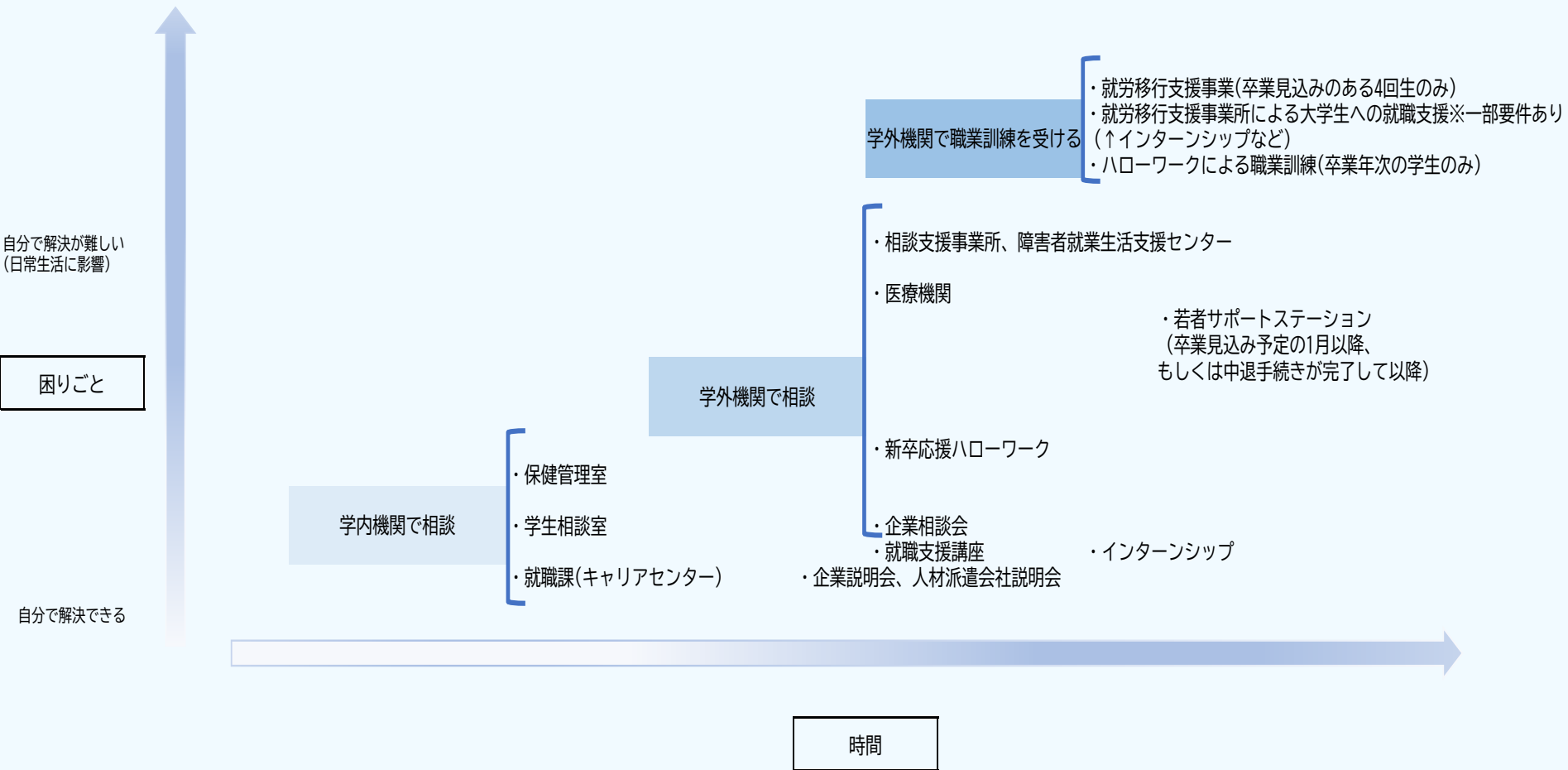
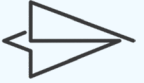
JASSOによる調査結果。
上図は2019年度、下図は
2023年度の調査結果に
なっている。

全体の回答数の増加に比
して、学外機関との連携
や障害学生向けの就職ガ
イダンスの実施が増えて
いる。

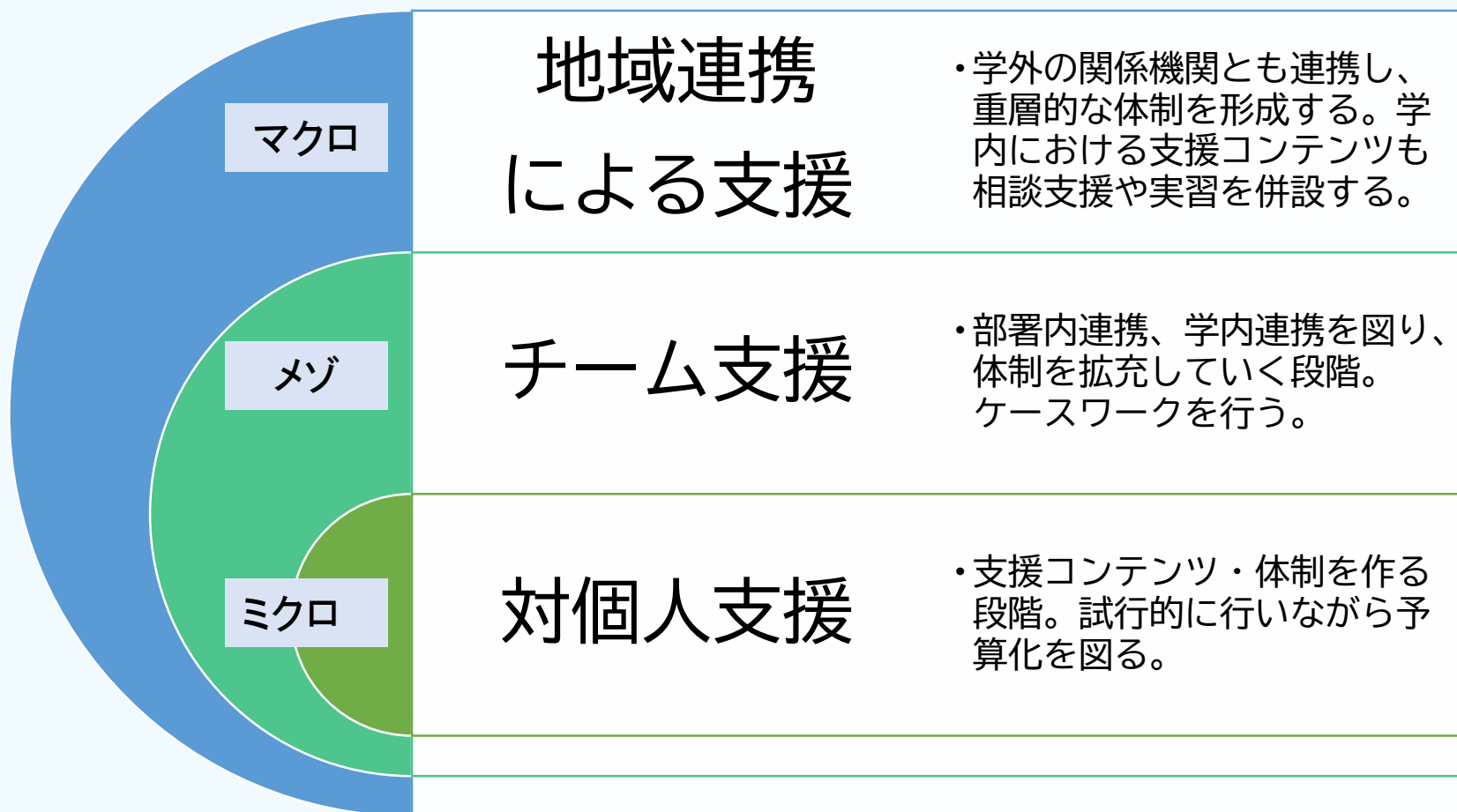
5年経過してなお、全体の
3割程度は未実施か。
実施している機関と、未実
施の機関の支援格差が
生まれているか。

「大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書(日本学生支援機構)」から引用

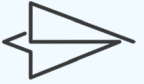
在学中に受けられる支援サービス(概要例)



各大学との連携から (井澤・池田ら, 2020)



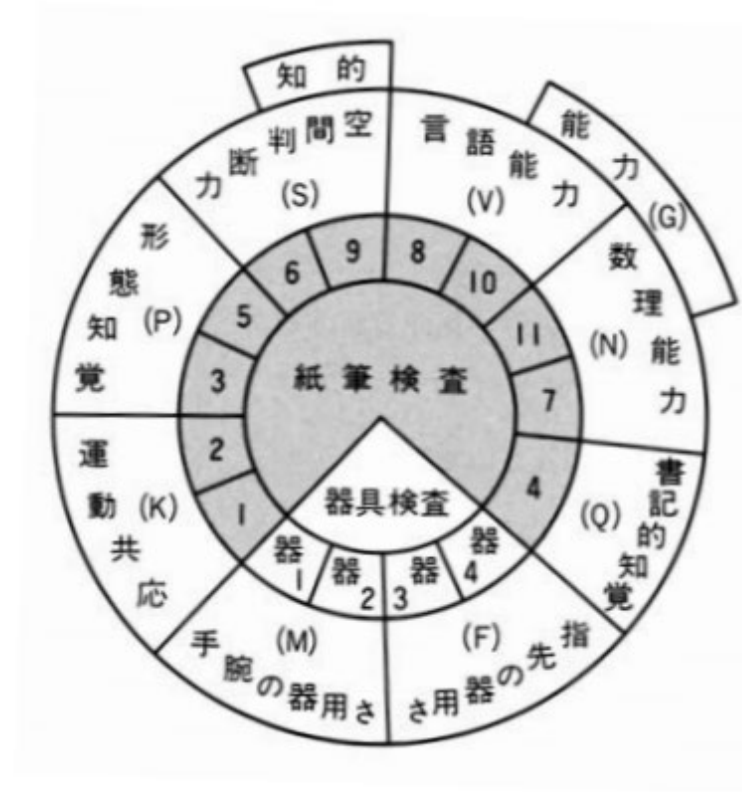
「自分を知る」ことのニーズを高める、サポートをする(困り感を扱う)



- 各大学で行われるのは、まずは診断のついた学生への体制整備。修学支援が先に行われ、必要に応じて、また組織の理念・経営的体力に基づいた就職支援体制の整備が行われる。
 - その後、発達障害的特性が高いが困り感が少なく、卒業間近で困り感が自ずと高まり、窓口に接続してくる学生が確認されるようになる。支援コストの高さから、予防的観点に基づいて、早期の発達障害的特性の高い学生のスクリーニングの対応を検討する。
 - 学内行事、実習の振り返り等を用いて、教員や窓口職員が気づけるように学内の啓発等が積極的に行われるようになる。標準化された検査を学内や学外機関と実施するところもある。
- ➡学内のプログラムへの接続を促す。スクリーニングの精度や支援プログラムの精度(心理的支援技術)の向上がポイント。

学生をつまづき個所の可視化を促進する取り組み(検査の紹介)

図表 2-5 9個の適性能と15種類の下位検査との関係



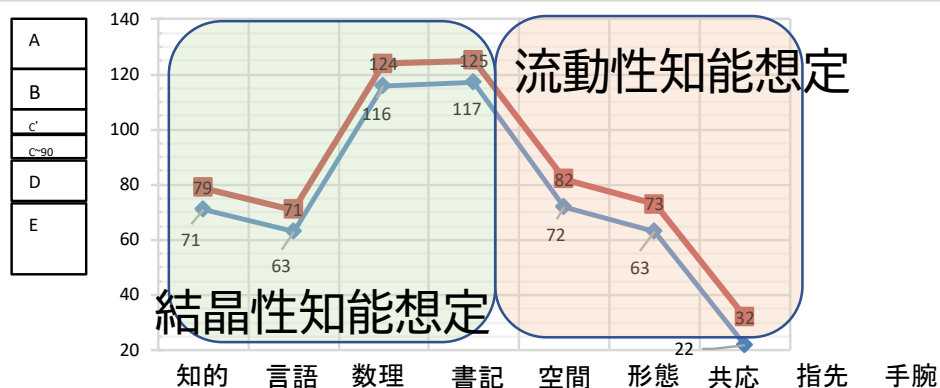
※「厚生労働省編一般職業適性検査手引 改訂2版」(厚生労働省職業安定局, 2013, p. 11.) より引用。

結果について

結果記録票

検査名	粗点					換算点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						G	V	N	Q	S	P	K	F	M																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1	39	/	39	(	100%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

適性能プロフィール



検査を受けていた時の様子を踏まえて、得点について結果を解釈していきます。

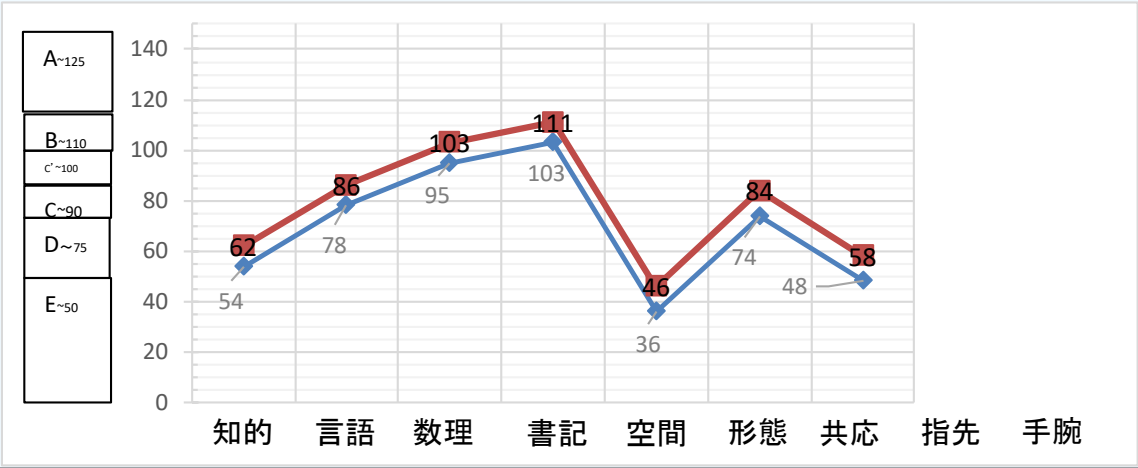
- ・どんなところが得意？
- ・どんなところが苦手？
- ・集中力はどんなかな？
- ・課題への正確性は？
- ・お仕事は何が向いてそうかな？

・どんな工夫をすれば働きやすいかな？
上記のことを中心に考えて、所見を書きます。

結果記録票

検査名	粗点	換算点									
		G	V	N	Q	S	P	K	F	M	
1	72 / 72 (100%)							26			
2	35 / 35 (100%)							22			
3	17 / 17 (100%)							47			
4	43 / 43 (100%)							103			
5	13 / 13 (100%)							27			
6	7 / 8 (88%)							27			
7	18 / 19 (95%)							61			
8	15 / 17 (88%)							51			
9	6 / 14 (43%)							2			9
10	19 / 22 (86%)							23			27
11	7 / 13 (54%)							29			34
1											
2											
3											
4											
適性能得点		G	V	N	Q	S	P	K	F	M	
		54	78	95	103	36	74	48			
評価段階		E	D	C	©	E	E	E			
(加算評価段階)		62	86	103	111	46	84	58			
		E	D	©	B	E	D	E			

適性能プロフィール



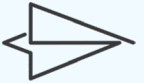
【全体より】

- 得意な項目と不得意な項目の得点に大きな差が見うけられました。
- 苦手とされる項目は顕著に低いことから、本人が「得意」「不得意」と自覚することで、課題へのパフォーマンスも変わる可能性が考えられます。苦手な課題に関しても、解くポイントを理解し、本人が「できる」と自覚するともう少し改善されるかもしれません。
- 後半に向けて集中力、もしくは疲労が見うけられました。

【就労において】

- 各項目の傾向から、文字や伝票を整理するような事務の仕事は向いている可能性が考えられます。
- また長時間の作業を行う際に、適度な休憩や区切りのある目標などを設定することで安定したパフォーマンスが発揮されるかもしれません。
- またご自身で苦手だと判断をされる前に、しっかりと相談し、苦手な作業をやりやすくなるようなポイントを周囲に聞いていくことで、バランスよく業務をこなせる可能性が考えられます。

近年の障害者就労支援に関する研究動向



- コクラン(医学論文のシステマティック・レビューを行なう国際的団体)のレビューにおいて、援助付き雇用(援助者が職場に出向き、障害のある人一人ひとりに合わせた支援を提供する人的サービス)については、それ単体のみの支援よりも、症状へのスキルトレーニング等を行うことも組み合わせた【拡張型援助付き雇用】の方が、就業率・定着率ともに高いと結論づけられている。
- 認知行動療法などは、そこに寄与することが期待されている。低強度のプログラムを組み合わせた支援の効果もRCTで確認されている。

実践研究紹介: ACATを参考にしたプログラムによる介入 (AS特性の心理教育、認知行動モデルを使って自身の問題を理解し、不得意なことへの対処法を考えるもの)

自閉スペクトラムとは、発達障害の特性の一つです

気持ちのコントロールが難しい
・イライラしやすい
・不安になりすぎる

うまく眠れない
・眠りすぎてしまう
・眠りが浅い
・なかなか寝付けない

おもな特性

対人関係の難しさ
・人付き合いが苦手
・コミュニケーションが難しい

こだわり・感覚の問題
・一つのものに執着する
・同じことを繰り返す
・感覚が敏感すぎるか鈍感すぎる

不注意・多動・衝動性
・集中できない
・物忘れが多い
・気が散りやすい

運動（感覚）が苦手
・手先が不器用
・疲れやすい

AS特性の
心理教育

ワークシート[特性一覧表]

自分の「自閉スペクトラム特性」を理解しよう
例えば…

苦手なことだと
認識しやすい
特性

興味のないことは
やる気が出にくい

勘違いしやすい

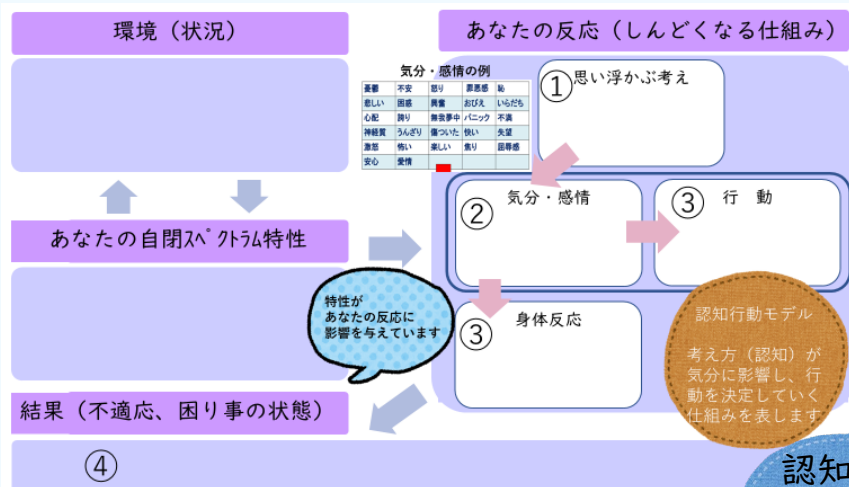
人といると疲れる

好きなことを
一生懸命できる

逆に考えることや、
もしこれさえ
できれば…と考
えてみよう

一人で楽しめる

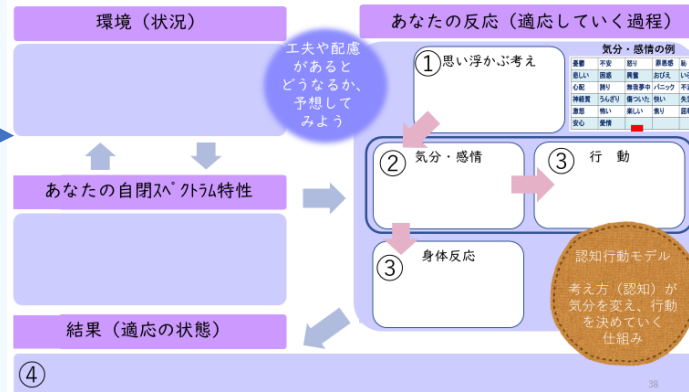
19



認知行動
モデルを使った
問題解決

周りの人に相談できること

自分でできる工夫



38



発達障害的特性の高い就職支援の実際 (NPOでの実践例を紹介します)

発達障害支援事業



【事業部の目的】

- 発達障害のある方への支援技術の包括的な向上。
- 法人内外への提供
- 就職支援に対しても、法人本体の就労移行支援のノウハウと事業部の支援技術を用いながら実施。

【アセスメント(検査)事業】

- WAIS、職業適性検査、HRMチェックリストを用いたエビデンスに基づくアセスメント専門チーム
- 対当事者、対支援・企業環境へのアセスメントを行う技術を構築
- アセスメントを通じた利用者確保活動

【教育機関連携事業】

- JSN資源を活用した教育機関における就職支援の専門チーム
- 法人内での実施プログラム、大学へのチーム職員の派遣を行う
- 支援を通じた利用者確保活動

【SV事業】

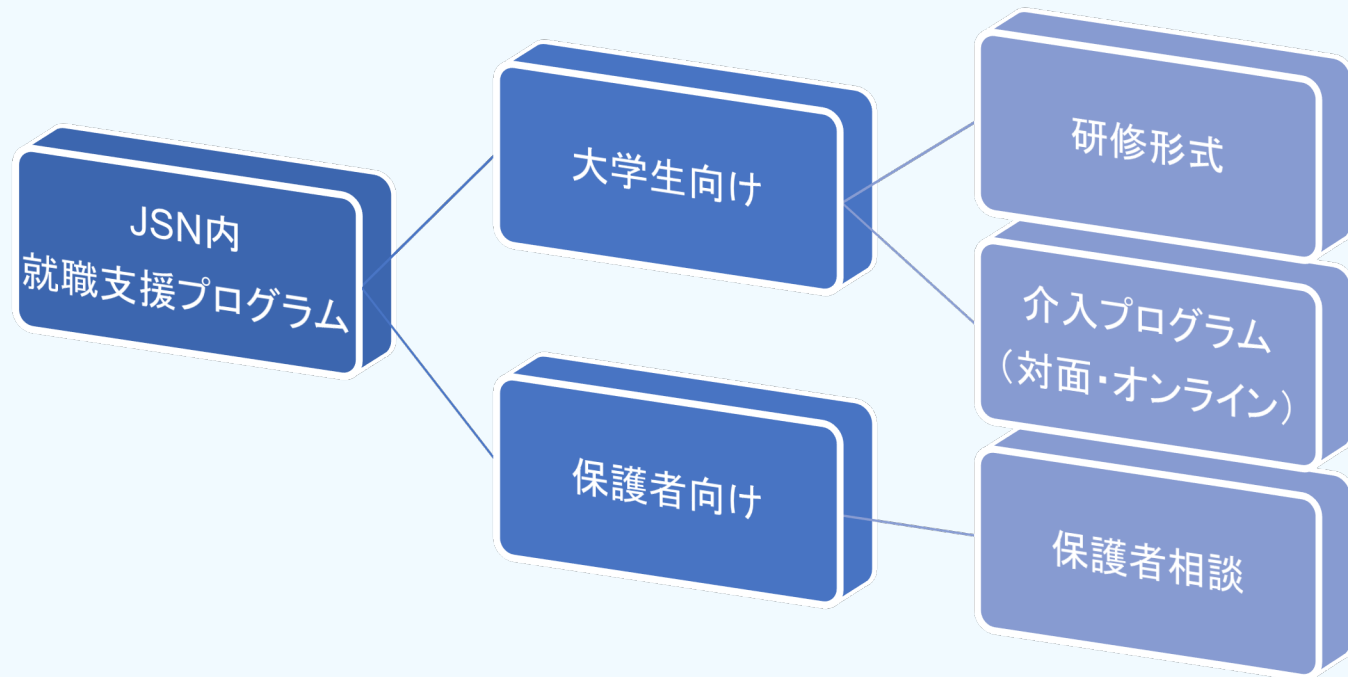
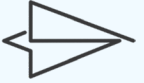
医療・福祉・教育
機関及び家庭、を対象
としたコンサルチーム

他法人への技術提供に
関する契約締結や講師
派遣、研修企画を
行う

詳しくは、
兵教大池田研究室HP
【JSNの活動】から ➡



NPOJSNの大学生への就職支援実践の紹介



大学内での実施プログラム

学生生活の適応向上を目的とした

コミュニケーション養成講座

コミュニケーションにお困りの学生のみなさま

この度、関西大学学生相談・支援センターでは、外部から専門家(就労支援を専門とした臨床心理士等)をお招きし、学生の皆様が日々の生活でお困りのコミュニケーションについて、改善・解消できるようなプログラムを開催することとしました。1回90分の計4回(年2クール)の内容を考えています。臨床心理学をもとにしたグループワークなど、参加型の研修となっています。ぜひ奮ってご参加ください ※この研修はNPO法人Job Support Networkと共催となります。

1. 講座内容

SST…対人関係のコツなどをグループで練習するプログラムです

1回目	学校生活やアルバイトに必要なビジネスマナー
2回目	報告をする(SST)
3回目	上手に断る(SST)
4回目	自分を知る(自分の考え方の傾向を知る)
5回目	問題解決訓練①
6回目	問題解決訓練②
7回目	怒りの対処法
8回目	働くとは(多様な働き方を知る、地域の支援資源を知る)

2. 日時・場所など

日時・場所などは確定次第お伝えします。受講料は無料となります。

1回目～4回目は前期日程、5回目～8回目は後期日程中に開催予定です。

詳しくは、相談支援センター(佐野・近森)までお問い合わせください。

- JSN内で実施している認知行動療法を活用したプログラム(就労準備プログラム, 2012;2017)を就職支援版として修正して適応させている。
- 社会的スキル訓練や認知再構成法、問題解決法をグループトレーニングとして扱い、自身の結果や周囲の結果を見ながら、自己理解を深めることを促進させている。
- JSNの実践を通じて大学側とコミュニケーションをとっていく中で学内での実施を提案。
- 予算申請をしっかりと行っている大学や単発での実施を行っている大学もある。
- 職員2名体制、1回90分で実施。
- 対象学生に関する事前打ち合わせや毎回のプログラム実施後、全プログラム実施後に大学担当者と振り返りを実施。

介入プログラム（オンライン）

- オンラインで完結させる介入プログラムを地域で実装させる取り組みを行っている（池田，2021）。
- 就職支援の流れをより促進させることが目的。
- 地元の障害者就業・生活支援センター、地域若者サポートステーション、医療機関、企業とも連携している。

学生生活の適応向上を目的とした

コミュニケーション養成講座のお知らせ

コミュニケーションにお困りの学生のみならず

この度、信州大学・学生相談センターでは、外部から専門家(就労支援を専門とした臨床心理士等)をお招きし、学生の皆様が日々の生活でお困りのコミュニケーションについて、改善・解消できるようなプログラムを開催することとしました。1回90分の内容を考えています。臨床心理学をもとにしたグループワークなど、参加型の研修となっています。ぜひ奮ってご参加ください。

※この研修はNPO法人Job Support Networkと兵庫教育大学池田研究室と共催となります。

1. 講座内容

- ① 8/19:「学生生活やバイトに必要なビジネスマナー（グループワークも行います）」
- ② 8/26:「報告する（ソーシャルスキルトレーニング）」
- ③ 9/2:「問題解決訓練」
- ④ 9/9:「就職者体験談・受け入れ企業の方から」
- ⑤ 9/16:「外部の支援機関（ハローワーク）を知る」

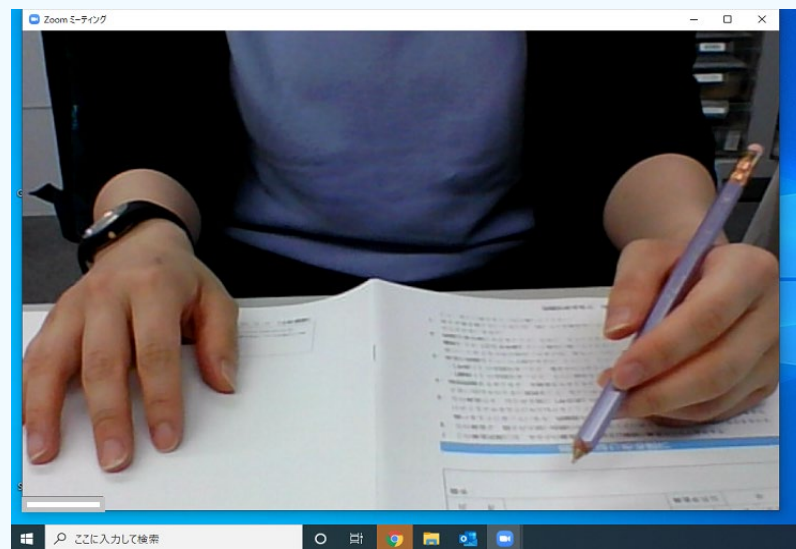
全て10時～11時半で行います。

※今回初めて参加される学生の方はプログラム参加前に、厚労省編職業適性検査を受けることができます。

2. 日時

上記を参照してください。オンラインで実施します。

詳しくは、学生相談センター(0263-37-3165 担当: 森光)にお問い合わせください。



（上記は信州大、高松大、北海道医療大など）

保護者相談会への参加など

早くに
知るほど
得する!

見つけよう!
自分に合った働き方・就職活動方法

就職支援事業所説明会

開催日 **10/20(水) 13:45-16:30**

参加形式 **対面参加・オンライン参加** (希望に合わせて選べます)

対象 **全学年の学生**

一人で悩まないで。
一緒に就活ができる事業所に出会おう。



発達障がいや、コミュニケーション・社会生活に不安を感じる学生に対して、その就職活動をサポートする事業所を紹介するイベントです。本学と連携する各事業所が支援概要や実績などに加えて、事業所が提供するプログラム(有料)について説明。プログラムの内容、受講メリット、受講者の声といった情報提供のほか、受講イメージがわきやすくなるワークショップも実施予定です。自分に合った就職活動方法や働き方にめぐり合うことで、有意義な活動につなげてください。

実施会場・方法について

事業所によって開催時間が異なりますので、十分に確認の上、申し込んでください。

対面参加の人

【会場】 安威キャンパス

オンライン参加の人

ZoomでのLIVE配信

Zoomアプリの
ダウンロードは
こちらから



本学連携 参加事業所の紹介

大阪府 茨木市 NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク

開催時間 13:45-14:30

支援対象者 ▶ コミュニケーションが困難、経験のことを同時にこなすのが苦手、気分が落ち込みが生活にも影響する、精神障がい・発達障がいのある方

法人設立から14年で550名以上の就労実績。

社会制度の枠を越えて、より長く職場に定着するための支援体制・技術を用いて皆様をサポートします。企業実習を中心とした支援のほか、医療機関との連携をとても大事にしていることも特色です。

<https://npojsn.com/>



京都府 京都市 株式会社ストーンフリー 就労移行支援事業所スキルアップスマイル

開催時間 14:45-15:30

支援対象者 ▶ 就職にお困りの20代・30代の方

就職後の定着率92%

就職後も長く働き続けられるようサポートをします。

進手門学院大学の卒業生がスタッフとして在籍。20代が多く通う、四条烏丸駅徒歩1分。IT系事務職種を目指す就職&定着支援サービスです。専門のスタッフがサポートをします。

<https://sus.stone-free.jp/>



大阪府 大阪市 株式会社LITALICOパートナーズ LITALICOワークス

開催時間 15:45-16:30

支援対象者 ▶ 働くことに不安や困難を感じている方

累計就職者1万人以上。就職後の半年定着率90%。

200種類以上のプログラムで苦手克服をサポートしています。「そのひとりの働くを実現する」プロのスタッフが、一人ひとりのスピードに合わせて、豊富な実習先と全国4,500社以上の多彩な就労先を提案します。

<https://works.litalico.jp/>



申し込み方法

裏面のセルフチェックに当てはまった人は、説明会にぜひ申し込んでください!

参加する3つの事業所の中から、説明を聞きたい事業所を選んで申し込みすることができます。(複数申し込み可能)

右記バーコードまたは下記URLから参加申し込みフォームに移動し、必要情報を入力の上、送信してください。

<https://ws.formzu.net/dist/557874878/>

締切 **10/17(日)** 定員 (先着) 対面参加 20名
オンライン参加 35名

入力したメールアドレスに自動返信メールが届きます。会場やZoomURLが記載されているため、必ず確認してください。

対象者
学生

要申し込み



事前配信される動画を見て説明会に備えよう!

配信期間 **10/20(水)まで**

オンデマンド講演会 | 期間内は自由に視聴可能です。

早期に取り組む就職支援
～ご家庭で一緒に取り組むには～

講演時間 約35分間

イベントに先立ち、特別動画を事前に配信します。学生とともに保護者・ご家族も対象にした内容です。ぜひ一緒にご覧ください。

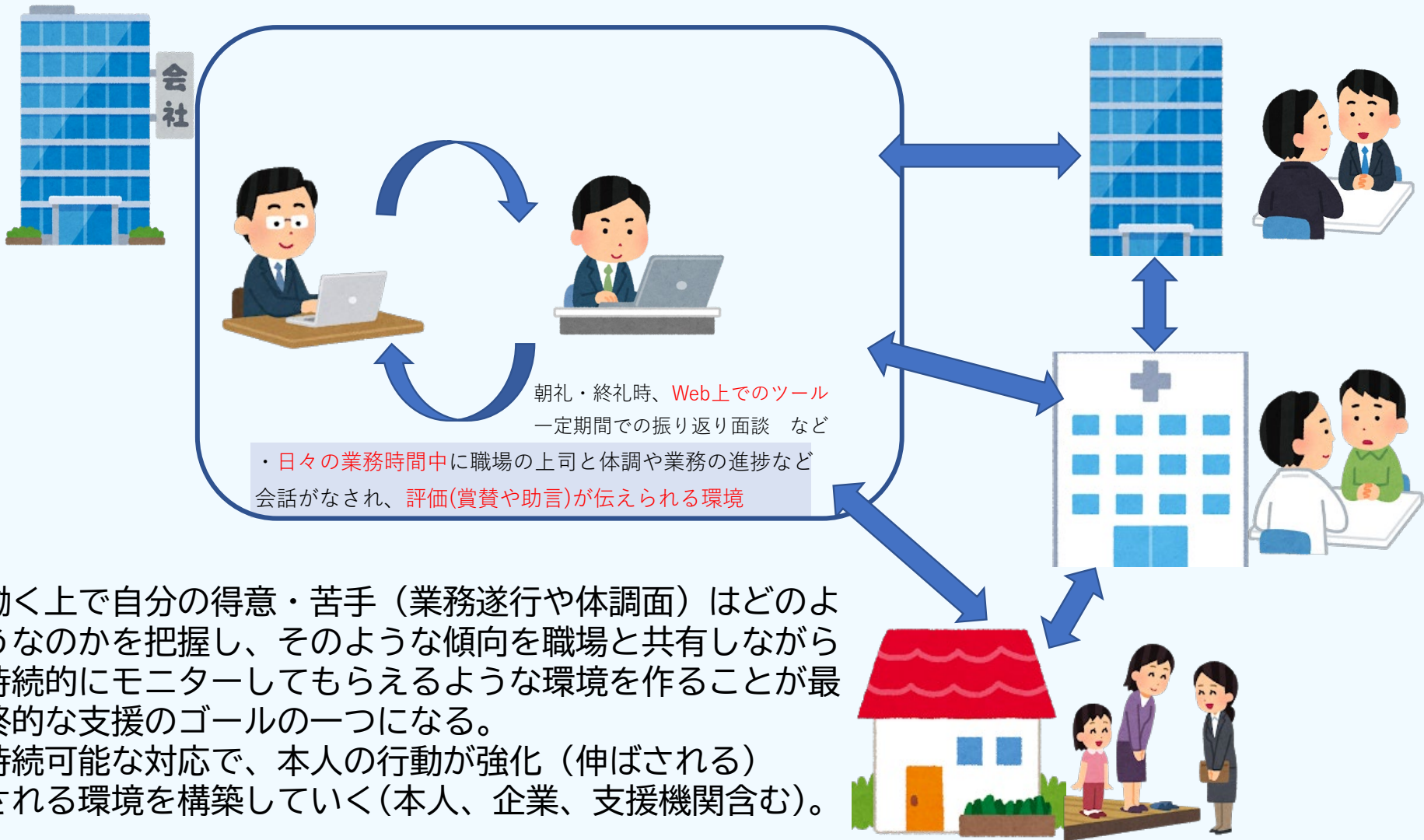


対象者
学生・保護者

申し込み不要

<https://bit.ly/3l05Fpg>

職場での定着を高めるために



働く上で自分の得意・苦手（業務遂行や体調面）はどのようなかを把握し、そのような傾向を職場と共有しながら持続的にモニターしてもらえよう環境を作ることが最終的な支援のゴールの一つになる。
持続可能な対応で、本人の行動が強化（伸ばされる）される環境を構築していく（本人、企業、支援機関含む）。

ご清聴ありがとうございました。



兵庫教育大学大学院 教授/
NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク
(JSN研究所/JSN地域・企業連携事業部)

副所長/主任
池田浩之

HPあります（兵教大池田研究室）➡

